

經濟論叢

第六十一卷 第三號

雄

國際價值論について……………松井清

貨幣の流通速度の概念に就て……………岩根達雄

片山潜と明治労働運動史……………岸本英太郎

高橋幸八郎氏「近代社會成立史論」……………河野健二

京都帝國大學經濟學會

渡的段階たる商品經濟の段階がもつ意義を没却することになりはしないであらうか。思ふに封建制から資本主義への推轉は、とくにフランスでは商人・地主の優越のもとにおける商品經濟的發展によつて可能となつたと見るべきであつて、著者のごとくそれらをすべて前期性・封建性で塗りつぶしてしまふならばフランス革命がブルジョワ革命として達成されたことの意義は一體いかにして理解されるのであらうか。總じて資本主義をもつばら獨立小農民のみに歸着せしめようとする大塚氏流の見解は商品經濟の意義およびその産物たる原始的蓄積過程を無視するところの資本主義の理想化論に陥りはしないであらうか。とくにこの考へ方をそのままフランスに適用するならば、農民に關するかぎり、アンシン・レژیムと革命との差違は、單に事實上の所有權が法的に確認されたといふにとどまり、フランス農業がその間にいかに發展し、農民層の分解がいかに進行し領主と農民との關係がいかに變化したか、つまりは其處にいかなる歴史が存在したかといふ根本的な事柄が見失はれてしまふのではないであらうか。著者が絶対主義を單に封建的なものと考へ、重農主義理論を「反動體系」と規定されることも右の理由よりして私には理解し得ないところである。以上きはめて簡單に私自身の未熟な疑問を開陳したが、本書はこの方面に關する従来の研究の多くが多くの問題性をもたない平反な事實の説明

つゝ書かれた勞作であつて、私自身きはめて啓發されたばかりでなく廣く學界を裨益し一段とその水準を高めるものであることを信じて疑はない。(一九四七・一〇・一〇)

本號執筆者紹介

松井 清 京都大學助教

岩根 達雄 京都大學特別研究生

岸本英太郎 京都大學經濟學部講師

河野 健二 京都大學助教

京都帝國大學經濟學會役員 (五十音順)

評議員長 靜田均
評議員 青山秀夫

岸本誠二郎
佐波宣平
靜田均
島恭彦
田杉競
出口勇藏
豐崎稔
中谷實
穂積文雄
堀江英一
堀江保藏
松井清
山岡亮一

昭和二十二年九月一日發行

編輯兼 松尾折彦
發行所 京都市左京區田中里ノ内 町一三

印刷人 鈴木直樹
京都市中京區壬生花井町 三

印刷所 日本寫眞印刷株式會社
京都市中京區壬生花井町 三

發行所 京都帝國大學經濟學部内
京都帝國大學經濟學會
振替口座大阪五〇五三九番
日本出版協會會員
番號B一〇一〇五六號

發賣所 有斐閣
本店 東京都千代田區神田
神保町二丁目十七番地
電話九段(33)〇〇三三番
振替口座東京三七〇番
支店 京都市左京區吉田
牛ノ宮町三番地

配給元 日本出版配給株式會社
東京都千代田區神田
淡路町二丁目九番地

本誌の購讀及び廣告はすべて有斐閣へ御申込み下さい

(禁轉載)

